

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

満足・妥協・限定は負のスパイラル

伸び悩んでいる選手は、ほぼ例外なくこう思っている。

「自分の力はこの程度」「これで精一杯だ」

自己限定をしているのである。聞けば「そんなことはない」と否定するに決まっているが、間違いなくそうなのだ。

なぜ自分の力や可能性を限定してしまうのか——現状に満足しているからである。プロの世界にいれば、それだけで人並み以上の生活ができる。しかし、満足してしまえば、「これくらいやればいい」と低いレベルで妥協するようになる。妥協してしまえば、「これ以上は無理だ」と自己限定してしまう、というわけだ。満足が妥協を呼び、妥協がさらに限定を呼ぶのである。そうなれば、もはや成長など期待できるわけがないだろう。

目指す学校や会社に入ったというのは、ゴールではない。あくまでも出発点だ。たとえオリンピックであっても、スタート地点に立っただけで満足するマラソン選手はいないだろう。「その後」がその選手の、その人間の価値を決めるのだ。

文・野村克也 text by Katsuya Nomura

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテス生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 パリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。



発売中